



## 全日本ロードレース選手権 第5戦 オートポリス

【JSB1000 決勝レース2】

9月14日 天候：曇りのち晴れ コースコンディション：ウェット

全日本ロードレース第5戦オートポリス大会が、9月13日・14日に大分県・オートポリスで開催されている。日曜日の早朝に、九州地方から本州にかけて線状降水帯が発生。サーキットは朝から強い雨と厚い雲に覆われてしまった。結果的に視界不良からJ-GP3クラス、ST600クラスの決勝は中止に。しかし昼に天候は一気に回復。サーキットを覆っていた厚い雲はなくなり、太陽も顔を出すコンディションとなった。

変更されたJSB1000クラスのタイムスケジュールは、朝のウォームアップ走行の代わりに5分間のセッションがレース前に設けられ、14時20分から当初予定されていた18周から12周に減算され、スタートすることになった。時間の経過とともに太陽に照らされた路面は乾いていく。

スリックタイヤでの走行となった濡れた路面が残る5分間のウォームアップ走行で、水野選手は2周目に1分56秒014のタイムを出し、この時点での2番手に上がる。結果的に総合3番手でこのセッションを終えることになったが、やっと本来の位置に水野選手が戻ってきたセッションとなった。

12周という短い周回数でのレース2がスタート。水野涼選手はうまくスタートで飛び出し、1周目を8番手で戻ってくる。2周目に1分49秒939をマークし、微妙に濡れている箇所があるにもかかわらず、予選で切れずにいた1分50秒の壁を破る速さを見せた。上位陣がなかなかペースを上げられない中、安定して1分49秒台でラップし、時にはトップのライダーを上回るペースで走る水野選手。ラストラップには3位の背後にまで迫って表彰台が見えたが、前に出るまでには至らず、4位でチェッカーとなった。



### 【コメント】

#### ■ JSB1000 #3 水野涼選手

昨日の夜、チームのメカニックが遅くまでマシンを分解し、再チェックしてくれたおかげで、5分間のウォームアップ走行で本来のマシンのフィーリングが戻りました。それでもマシンの状態を確認したかったので序盤は様子を見て、大丈夫だと確信できたのでペースアップし、結果的に4位まで上がることができました。やっとトンネルの出口が見えました。次の岡山は小排気量クラスの頃から良い結果を出しているコースなので、本来の調子に戻ったマシンで全力を出し切ります。

#### ■ DUCATI Team KAGAYAMA 加賀山就臣監督

タバ遅くまでメカニックが頑張ってくれて、なかなか見えなかった出口にたどり着くことができた感じでした。再チェックしたマシンに、昨日のレース1で得たデータをフィードバックさせた結果が、レース2の走りに繋がったと思います。気持ちよく走れるマシンをライダーに渡せなかったことは本当に申し訳なかったし、その状態に持つためにメカニックに夜遅くまで作業を強いて、みんなでやっとたどり着けた出口だと感じています。たくさんのファンの方々にも心配していただき、応援の声もいただきました。まだまだ我々の速さは、こんなものではありません。さらに皆さんの期待に応えられるよう頑張りますので応援、よろしくお願いたします。

SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider

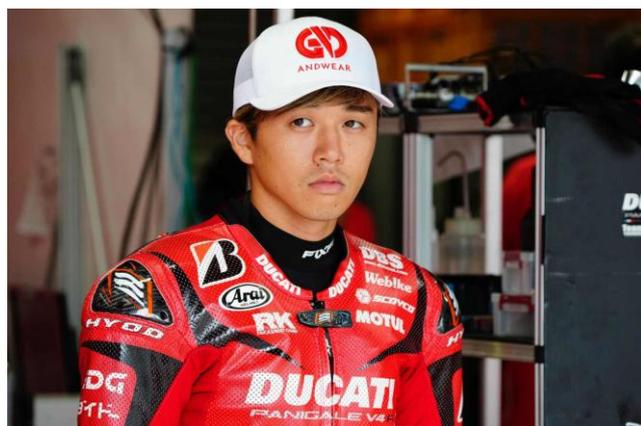
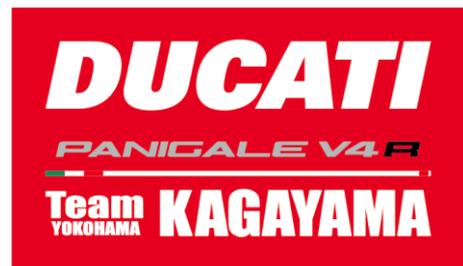


SDG Co., Ltd.

# 2025 MFJ ALL JAPAN ROADRACE CHAMPIONSHIP

全日本ロードレース選手権 第5戦 オートポリス

【Photo Gallery 9月14日】



SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



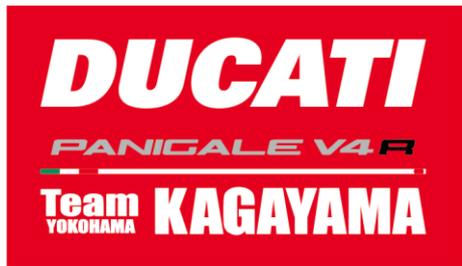
SDG Co., Ltd.

**DUCATI**  
PANIGALE V4 R  
Team KAGAYAMA  
YOKOHAMA

RACING INFORMATION

**SDG**

# 2025 MFJ ALL JAPAN ROADRACE CHAMPIONSHIP



## 全日本ロードレース選手権 第5戦 オートポリス

【9月14日 JSB1000 決勝レース2 結果】



19

2025 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦

JSB1000 Supported by ETS Racing Fuels RACE2 決勝

2025 / 9 / 14 15:37



正式結果

Weather :曇り

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track :セミウェット

Pos	No	Rider	Team	Type	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	2	中須賀 克行 Katsuyuki NAKASUGA	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	12	21'54.287		1'48.785
2	4	野左根 航汰 Kohta NOZANE	Astemo Pro Honda SI Racing	CBR1000RR-R	12	22'02.070	7.783	1'49.034
3	9	伊藤 和輝 Kazuki ITOU	Honda Dream RT SAKURAI HONDA	CBR1000RR-R	12	22'03.308	9.021	1'49.661
4	3	水野 涼 Ryo MIZUNO	DUCATI Team KAGAYAMA	Panigale V4R	12	22'03.697	9.410	1'49.423
5	30	鈴木 光来 Koki SUZUKI	TeamATJ	CBR1000RR-R	12	22'05.612	11.325	1'49.541
6	10	長島 哲太 Tetsuta NAGASHIMA	DUNLOP Racing Team with YAHAGI	CBR1000RR-R	12	22'10.142	15.855	1'49.542
7	13	児玉 勇太 Yuta KODAMA	MARUMAE Team KODAMA	YZF-R1	12	22'10.560	16.272	1'50.016
8	7	津田 拓也 Takuya TSUDA	Team SUZUKI CN CHALLENGE	GSX-R1000R	12	22'11.367	17.080	1'50.109
9	25	新庄 雅浩 Masahiro SHINJO	KRP SANYOUKOUGYO RS-ITOH	ZX-10R	12	22'18.816	24.529	1'50.856
10	32	中村 竜也 Tatsuya NAKAMURA	KRP SANYOUKOUGYO RSITOH	ZX-10R	12	22'22.404	28.117	1'50.598
11	20	津田 一磨 Kazuma TSUDA	Team BabyFace	YZF-R1	12	22'38.861	44.574	1'52.034
12	24	星野 知也 Tomoya HOSHINO	TONE Team4413 BMW	M1000RR	12	22'40.319	46.032	1'52.104
13	23	中富 伸一 Shinichi NAKATOMI	RSN	YZF-R1	12	22'40.379	46.092	1'52.443
14	28	吉田 愛乃助 Ainosuke YOSHIDA	TONE Team4413 BMW	M1000RR	12	23'05.858	1'11.571	1'54.491
15	44	樋口 耕太 Kota HIGUCHI	FACTORY HIRO H.L.O RACING	GSX-R1000R	12	23'26.763	1'32.475	1'55.845
***** 以上チェッカー *****								
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****								
	8	岩田 悟 Satōru IWATA	Team ATJ	CBR1000RR-R	7	12'53.508	5Laps	1'49.455
	17	杉山 優輝 Yuki SUGIYAMA	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR-R	5	9'27.725	7Laps	1'52.231
	11	関口 太郎 Taro SEKIGUCHI	SANMEI Team TARO PLUSONE	M1000RR			スタートのみ	



Fastest Lap

1'48.785 (5 / 12) 154.676 km/h 2 中須賀 克行 Katsuyuki NAKASUGA / YAMAHA FACTORY RACING TEAM

Start Time :14:22'50 Finish Time :14:44'44

Entry :19 Start :18 Finish :15

WET宣言(13:23)

公式通知 No.13により決勝周回数を2/3周とし、12周回のレースとした。

審査委員長 阿部 徹郎	競技監督 山本 義典	計時長 黒崎 豪
----------------	---------------	-------------

Timing and Results by SEIKO

SNS ACCOUNT



@SdgMSOfficial



@sdgrider



SDG Co., Ltd.



RACING INFORMATION

